

【本時の目標】 中部地方の産業の発達の要因を多面的・多角的に考察し、根拠をもとに表現する。(本時 3/5時間)
【本時における社会的な見方・考え方】 地理的条件や社会的条件に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。

問題 なぜ、中部地方は多くの産業で日本一なのだろうか？


めあて ○○（自分が担当する産業）は、なぜ、日本一を誇っているのだろう。

予想 これまでの日本の諸地域の学習で活用した見方・考え方を活かしてみよう！

検証 中部地方だからその発展なのか！？

まとめ 私が調べたのは、()地方の()です。この産業が日本一の理由は()だと考えられる。

産業種：農業
産業品：米
盛んな地域：新潟（北陸）
資料：



◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て
 (「問題」、「めあて」の工夫、まとめ、発問、活動など)
 中部地方の学習を進める際、産業を中核とした考察の仕方を基に、空間的相互依存作用や地域に着目して、「なぜ、多くの産業で日本一なのか」を主題に、地理的条件、社会的条件の様々な視点で問題解決を目指し、生徒が中部地方の産業が発展した要因を真剣に考え、自分なりの解決方法で、課題を解決し、根拠を示しながら表現することで、学習を深めていく。
 「なぜ、中部地方は多くの産業で日本一なのだろうか」という単元を貫く課題に迫るために、九州地方、中国・四国地方、近畿地方で活用した自然環境、人口・都市、交通の視点を用いて自身で予想し、多面的・多角的に考察する。
 本時では、チャットやロイロの共有ノートを活用して、予想・検証時に他者参照、途中参照し、自身の仮設の見直しや、考察を深めていく。
 また学びの中での疑問や自分の考えの根拠を示すために、中部地方の産業に関する情報・資料を収集、取捨選択することで、自分の意見に客観性や妥当性、周りが聞いて納得できる提言を作っていくように働きかける。

中部地方の産業に注目し、めあてを設定する。

T 中部地方で日本一の産業には何があったんだろうか。

S ホンダの車。

S こしひかりのお米も日本一だった。

S めがねもあったよ。

S 意外とカツオもある。他にもお茶とかもあったね。

T 中部地方では多くの産業で日本一を誇っているね。

S 中部地方ってすごいね。

T でも、どうして中部地方はここまで多くの産業で日本一になれるのだろう。
 今日は、1つの産業にしぼって、どうして日本一になれているのか探ってみましょう。

T どの産業を探ってみたいですか。チャットに投稿しよう。

S 私は、車について探ってみたいな。

S お茶を調べる人は少ないから、僕はお茶を調べてみようかな。

めあて ○○（自分が担当する産業）は、なぜ、日本一を誇っているのだろう。

それぞれの産業が日本一の要因について考察し、検証し、表現する（思・判・表）

T まずは、今まで学習したことも踏まえて、予想してみよう。予想をしたら、チャットに投稿しよう。

S 車は、人口が関係しているんじゃないだろうか。

S お米は、気候が適しているからだと思うな。

T いいですね、では予想した視点をもとに、実際に調べてみてください。もし、検証して予想の見直しが必要であれば、見通しても構いません。

S めがねはなんでだろう。よくわからないな。

T わからなければ、産業は違えど、チャットに投稿してある視点を参考にしてみてもいいですか。

S じゃあ、気候の視点でやってみようかな。

【 個人思考 】
 (クロムブックを活用し、ロイロノートにまとめる)

【 他者参照+途中参照 】

S 同じ産業を調べている人はいないかな。

S 同じ産業を調べている○○くんは、気候を視点に調べているみたいだから、ぼくも気候の視点で調べてみようかな。

S 違う産業だけど、交通の視点で調べているみたい。お米も交通がもしかしたら関連するかもな。

S 気候の視点で調べてみたら、米作りに必要な水が雪解けによって豊富にあるみたいなんだ。

S なるほど。自分が調べたら平野が多いこともかいてあったよ。

S でも、雪が降る地域は他にもあるし、平野もたくさんあるけど、中部地方ならではの発展ではないかな。他にも理由があるのかも。

S じゃあ、ぼくは交通が関係していると思うから、北陸地方の交通網を調べてみようかな。

S わたしは、他の産業で歴史的な視点で調べている人いるから、その視点で調べてみたいな。

S 交通の視点は大きく関わってはいなさそう。

S 中部地方では、機械を導入したり、品種改良したりするなど、収穫率をあげたり、美味しいお米をつくっているみたい。そこが関係してるんだ。

まとめ 振り返り

T それでは、今日検証したことをもとに、まとめを書いてみましょう。

S 車：この産業が日本一の理由は、大都市とつながっている高速道路や海外にも輸出できる大きな港があるからだと考えられる。

S 米：雪解けの水や平野などの自然環境が適していることと機械の導入を積極的に行うなど効率化をしていることが日本一の所以だと考えられる。

S カツオ：海が穏やかであり、港の冷凍設備も整っていることや配送ルートが大都市に繋がっていることが要因だと考えられる。

S めがね：冬は雪が多く農業ができないため、冬場でも作業ができる産業として始まり、暮らしを向上させるために、大阪から職人を招き農業の副業として盛んになったことが理由だと考えられる。

S レタス：標高が高く涼しい気候にあることや交通網が発達したことで新鮮な状態で運ぶことができるようになったことが日本一の所以だと考えられる。

T まとめが書けた人は、振り返りを書かしましょう。特に活動で気になった友達の意見や思考があれば、ぜひ振り返りに理由とともに書いてみましょう。

<指導上の留意点>
 ・産業が偏らないように声かけをする。

<指導上の留意点>
 ・多面的・多角的に考えさせるため、ICTを活用する。

<指導上の留意点>
 ・共同作業ではなく、他者参照・途中参照となるように促す。

<指導上の留意点>
 ・まとめでは、リード文を示す。

<評価規準> 中部地方の産業の発達の要因に迫る活動を通して、中部地方の地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現している。